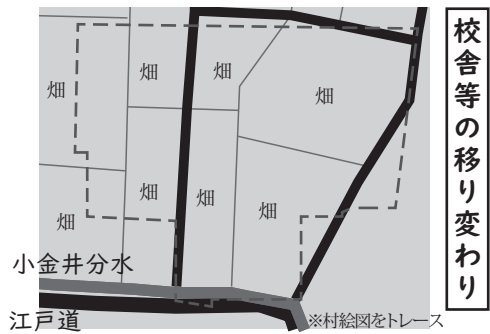
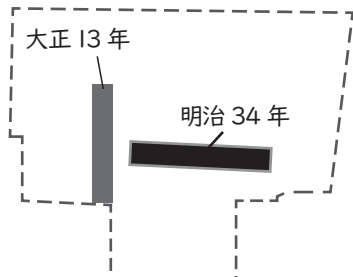


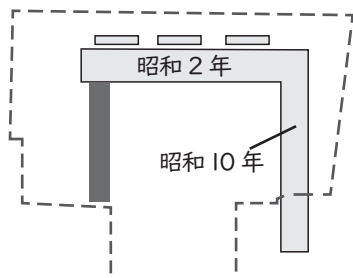
元号	西暦	第一小学校関連の近現代年表
明治6	1873	学制公布。金蔵院境内に尚綱学舎を開設
明治8	1875	小金井学校に改称
明治22	1889	複数の村が合併し“小金井村”が誕生
明治25	1892	尋常小金井小学校に改称
明治26	1893	小金井尋常小学校に改称
明治33	1900	金蔵院境内から本町1丁目へ小学校を位置変更
明治34	1901	校舎（平屋建て）完成 小金井尋常高等小学校に改称
明治45	1912	セントヘレナの松が植えられる。
大正13	1924	西校舎（平屋建て、6室）完成
昭和2	1927	北校舎（2階建て、20室）完成
昭和10	1935	東校舎（2階建て、10室）完成
昭和12	1937	町制施行。校内で町制施行祝賀式典挙行 武運長久祈願祭を校庭にて開催
昭和15	1940	校庭で家庭防火群訓練実施 武蔵小金井駅東踏切の北側に永井銀治郎頌徳碑建立
昭和16	1941	小金井国民学校に改称 校庭で必勝町民大会開催
昭和18	1943	校庭で防空訓練・避難消火大演習実施。敷地内に防空壕（退避壕）をつくる 訓練空襲警報発令、緊急下校・退避壕に避難
昭和19	1944	校庭で防火訓練実施 11月、B-29が東京初空襲。小金井町内10数か所に投弾。小金井大緑地を中心として13発の爆弾・焼夷弾投下あり
昭和20	1945	小金井に合計爆弾6発、焼夷弾5発が落下。家屋3棟が半壊。 武蔵小金井駅構内に停車中の電車に焼夷弾落下。線路上に大型焼夷弾1個落下
昭和22	1947	町立小金井第一小学校に改称
昭和27	1952	講堂で戦後初の小金井町戦没者追悼式挙行
昭和33	1958	市制施行。小金井市立小金井第一小学校へ平屋の旧西校舎解体
昭和35	1960	体育館・西校舎竣工
昭和36	1961	プール新設
昭和39	1969	小学校空き教室に市立図書館開設
昭和45	1970	校舎改築工事
昭和47	1972	鉄筋校舎（4階建て）完成
昭和50	1975	市立図書館本館、開館
平成8	1996	体育館・屋上プール完成
平成26	2014	セントヘレナの松お別れ会
令和5	2023	創立150周年



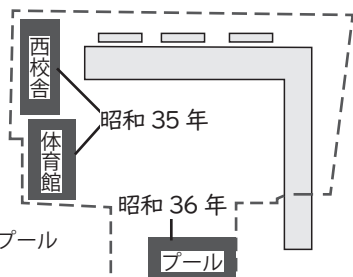
●明治8年 小学校移転以前



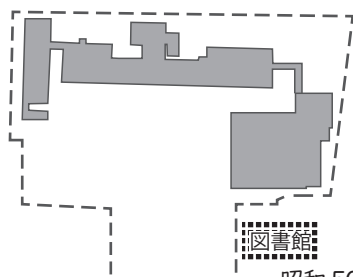
●明治34年～ 小学校建設



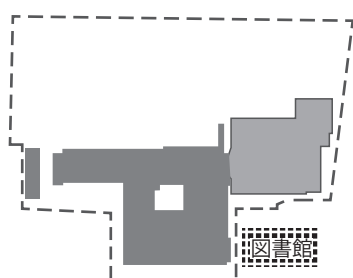
●昭和2年～ 2階建て校舎



●昭和35年～ プールほか



●昭和47年～現在



●改築（計画案）

校舎等の移り変わり

令和7年9月6日(土)

小金井市教育委員会主催

一小で

遺跡見学会

説明資料

こがねいきょういくいんかい こがねいだいいちしょうがっこう
小金井市教育委員会では小金井第一小学校
こうしゃたてか
の校舎建替え等に取り組んでいます。
こうしゃたてか
校舎建替えに先立ち、令和7年6月より
いせき
校内遺跡の本格的な発掘調査を始めました。
はくつちようさ
発掘調査では、縄文時代・江戸時代～太平洋
せんそうき
戦争期の多様な時代の遺構・遺物が見つかる
いせき
等、本町1丁目にも遺跡が広がっていること
が事実となりました。

◆縄文時代

じようもんじだい
落とし穴や集石土坑（調理場跡）・石器製
さくあと
作跡・多数のピット（小穴）が発見されまし
た。各遺構が縄文時代のいつ頃のもののなか
いは今後の分析によりますが、縄文人の集落（ム
ラ）のまわりで狩猟・調理・製作の活動の痕
跡が確認できたことは大きな成果です。

◆江戸時代～明治時代（明治33年）

えどじだい めいじじだい
うねあと
畝跡（畑の跡）を発見し、各種の区画溝が
きそくせい
規則性をもって畑を仕切っています。出土し

とうじき
た陶磁器の年代からは江戸時代前半から活動
していたと推測されます。

◆明治34年（現在地に小学校移転）以降

ちようさ
調査では防空壕が見つかりました。当時の
ぼうくうごう
記録より、太平洋戦争期の昭和18年につ
くられたものと考えられます。戦後80年の
たいへいようせんそうき
年に姿をあらわしたのは意義深いです。
いぎぶか
これらの調査成果は、学校史・地域史を考
えらううえで重要であり、本町1丁目にも遺跡
が広がっていることを物語っています。



防空壕

【太平洋戦争期】

深さは1.2 m程度の防空壕（退避壕）です。東側に階段。地下室①②も防空壕の可能性あり



出土した焼夷弾

【太平洋戦争期】

防空壕の一角から積み並べられた状態で59発の焼夷弾を発見。 ※焼夷弾は陸上自衛隊により全て回収・搬出済み。写真はとり上げた状態。



区画溝（溝①②）

【江戸・明治時代】

深さ50～70 cmの南北方向に伸びる溝。屋敷区画及び畑の根切り溝としての性格が考えられます。写真は溝②

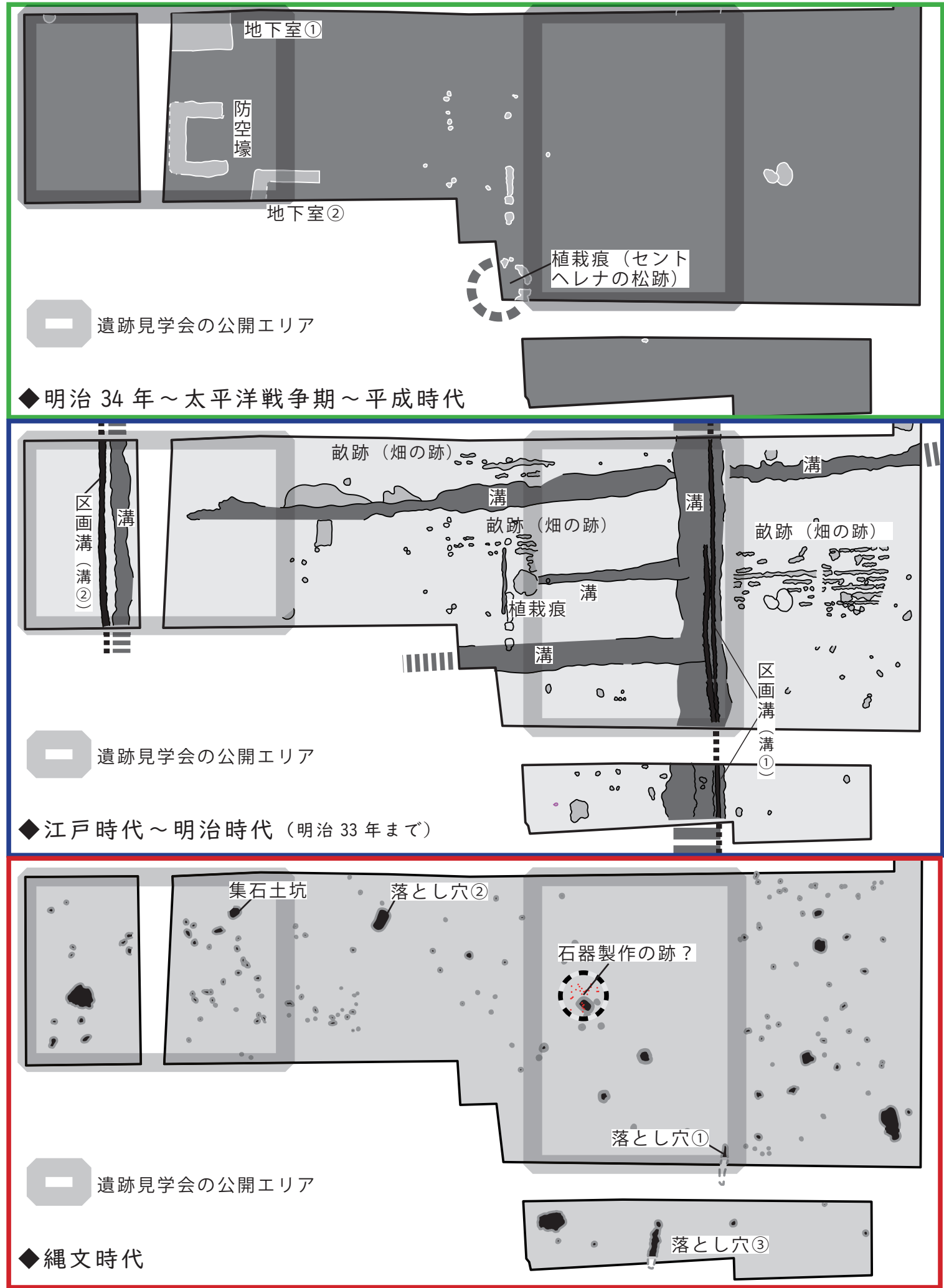


集石土坑

【縄文時代】

焼けた石や炭化物を確認。食材を蒸し焼きする“調理場”として考えられます。炭化物を分析することでおよその使用年代が判定可能。

発見された主な遺構 ※今後の調査・分析の結果、遺構の性格が変更となる場合があります。



畝跡（畑の跡）

【江戸・明治時代】

農地で作物を栽培する際に設けられた畝。水田のないハケ上（台地上）では江戸時代から畑作を行っていました。



石器製作の跡？

【縄文時代草創期】

石器を作る際に生じる石くず（矢印）が特定の場所で集中出土しています。石器は見つかっていませんが上手につくったのでしょうか。



落とし穴①

【縄文時代】

動物を捕えるためにしかけた罠。今回の調査では落とし穴が3基発見。罠からはシカやイノシシ・ウサギ等を狙っていたようです。



落とし穴②

【縄文時代】

底には先のとがった杭を刺していたと推測。落とし穴①よりもはば広く形状が異なります。